



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校便り 6月号
令和元年5月31日
横浜市立旭小学校

「令和になって」

副校長 保科 桂子

元号が令和に替わって1か月近くがたとうとしています。10連休の間に、テレビや新聞を眺めながら、自分の平成の出来事を思い返していました。昭和から平成になったのは1月で、私はちょうど受験生でした。「郵便や銀行や交通が止まって、受験に支障が出たらどうしよう」と不安になった覚えがあります。また、古典の「源氏物語」の講義の中で、天皇の代替わりに伴って行われる大嘗祭や新嘗祭などの行事が、とても身近に感じた覚えがあります。教師になってからは、平成元年生まれのお子さんを担任したとき、「とうとう平成生まれが入ってきた！」とかなり愕然とした覚えがあります。(ちなみに、その学年には、昭和63年、昭和64年、平成元年生まれのお子さんがいました。)

さて、令和になったこの5月下旬から6月にかけて、旭小学校では、スマイルフレンズ(異学年によるたてわり活動を旭小では「スマフレ」と呼んでいます。)活動の一つとして行われる全校遠足、各学年の宿泊体験学習と、様々な行事が実施されます。計画をしたり、準備をしたり、子どもたちも張り切って取り組んでいます。安全に有意義に行えるように、教職員も準備に余念のない日々を送っています。

スマフレ活動では、下学年に優しく声をかけたり、思いやったり、逆に上級生に声をかけられて笑顔になったり、異学年交流だからこそその姿が見られます。もちろん、「うまくいかなかった」「言うことを聞いてくれない」と苦勞する場面もたくさんあるでしょうが、小さいときの「優しくしてもらった」という経験を糧に、一生懸命がんばる上級生は、とても頼もしく成長していきます。春の全校遠足、秋の運動会や交流会でのかかわり、卒業・進級前の「ありがとう・さようなら会」、年間を通して活動を深めています。

5月28日(火)に行われた全校遠足では、スマフレグループで関わる姿がたくさん見られました。植物や生き物に興味をもって、「あの花なんだろう、きれいだな」「鳥が鳴いているよ」とおしゃべりしながらポイントラリーを楽しむお子さんもいました。予報よりも雨が早く降り出してしまいましたが、昼食の片付けを上級生が声をかけたり、手伝ったりして、協力して手際よく出発の準備をすることができました。(また、全校遠足ボランティアの皆様にも、本当にお世話になりました。特に、帰路は突然の時間変更にもかかわらず、多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。)

友達や先生を初めとして、人とかかわることは、子どもにとっても大きな体験となります。きっと、それは、元号が令和になっても、新しい学習指導要領に替わっても、学校教育の中で、大切にされていくものでしょう。

今年度も子どもたちの大きな成長を楽しみに、活動を支援していきたいです。ボランティアやご家庭での準備など、ご協力よろしく願いいたします。



6月の取組目標

生活目標

きれいな学校にしよう

保健目標

病気や虫歯をなくそう

清掃目標

雨具のしまつをじょうずにしよう

給食目標

清潔に心がけて食事をしよう